

PSW 通信 2015-Vol.2

どどんと全国大会特集号!!

平成 27 年 6 月 25 日～27 日に福島県にて開催されました、
第 51 回日本精神保健福祉士協会全国大会・第 14 回日本精神保健福祉士学会学術集會に
参加された皆様からの熱い報告をさせていただきます。

鈴鹿厚生病院 辻 宏明

6 月 25 日～27 日の 3 日間、全国大会・学術集會に参加してきました。久しぶりの参加で、全国で活躍される PSW の方々のお話が聞くことができ、とてもいい刺激になりました。

東北開催ということで、発表の内容も被災地支援に関する発表が多かったことが特徴だと思いました。会場となったビッグパレットふくしまは避難所であったこともあり、隣には仮設住宅がまだ残っており、まだ復興支援は終わっていないと感じました。記念シンポジウム「被災地におけるコミュニティの再生とレジリエンス」では岩手県・宮城県・福島県・兵庫県、4 県の話では東北 3 県の被災 4 年での現状と課題について話があり、兵庫県は被災 20 年となるが、その経験が東北での災害支援に活かされているといった話を聞くことができ、これらの経験は私たち三重県も東海地震が起こりうる以上、他人ごとではないと考え、準備を行っていかなくてはならないと思いました。

プレ企画の「精神保健福祉士の価値を実践に活かすには」2014 年 11 月に精神保健福祉士業務指針第 2 版が作成され、それを通常の業務マニュアル・現場の PSW 教育に活かしていけるのかを実際に導入を始めた病院（浅香山病院）の実例報告でした。業務の整理を行うことで、自分がどんな仕事を行っているのか、どういう風に行っていけばいいのかなどを、周囲から見てわかるようになり、自分自身業務を振り返ることができる。結果、業務の効率化が行え、自分一人で抱え込まず、みんなでかかわっていくことで、PSW としての質の向上、業務負担の軽減につながっていくと思いました。

他にも参加した多くの発表がそれぞれ、考えさせられることがあり、また普段出会うことがない他県の PSW の方々と交流ができる機会は非常に貴重なものだと感じました。大会中に出会った郡山市在住の PSW の方に教わったクリームボックスという名物お菓子？も食べることができ、非常に楽しい時間となりました。



ままだおる



クリームボックス



おきあがり小坊師



薄皮饅頭



あかべこ

福島土産♪

皆様のお手元にお土産は届いた
でしょうか(笑)?

小児心療センターあすなる学園 寺田 健二

「障害者の権利に関する条約」批准締結に伴い、「精神保健および精神障害者福祉に関する法律」が改正施行され、「当事者主体」という精神保健福祉士としてのかかわり方が改めて問われている。当事者の人権を尊重し、その人なりの人生をその人なりに過ごせる当たり前の権利を如何に支援していけばいいのか、精神保健福祉士に求められる要求は益々大きくなっていくものと思われる。

今回、初めて日本精神保健福祉士協会全国大会に参加させて頂き、それぞれの事例を通して感じた事は、私たち支援者が当事者に対して「どうすればいいのか？」と考えるのではなく、当事者が「どうしたいのか？」をしっかり把握した上で、本人のニーズに寄り添いながら支援していく事が大切であると再認識させられた。当院においては児童精神科という事もあり、何処まで本児の意見を尊重していけばいいのか悩ましい場面もある。今後は一定の年齢以上の当事者に関しては本児の意見を尊重させ、場合によっては本児自ら会議等にも出席してもらうように促していく試みが必要になるのではないかと。

また、今後求められる精神保健福祉士の役割について知るだけでなく、発表内容を聞きながら自己の関わりを省みる機会でもあった。進展がみられない困難ケースや業務多忙になると、ついつい「当事者主体」の基本姿勢がなげかりになってしまうケースが存在する。研修に参加する事で、今まで自分自身が携わってきたケースワークがはたして当事者にとって十分なものだったのかを振り返る良いきっかけになった。

今回は 2 泊 3 日と研修内容もびっしり詰まっていた事や風邪気味で体調不良も重なった事もあり、郡山市以外の場所を散策する事が出来なかった。その為、今度ゆっくりと福島を訪れる機会があれば、会津・喜多方地方の酒造散策、野口英世の生誕地や幕末の動乱に活躍した人々の史跡巡りをしてみたいものです。もちろん、その土地でないと食べる事が出来ない郷土料理食べ歩きも。



総合心療センターひなが 船戸 由里香

6 月 25 日～27 日、東日本大震災で福島県内最大の避難所となったビッグパレットふくしまで第 51 回精神保健福祉士協会全国大会「共生・創造・未来～はじめよう、ここから～」が開催されました。私自身、名古屋大会以来の約 10 年ぶり？そして、発表自体も初めてという事でかなりの緊張のなか参加をしてきました。

大会初日、日本精神保健福祉士協会柏木会長から「ソーシャルワーカーの使命とは何か」との投げかけがあり、改めて PSW の専門性、価値について再考する機会となりました。

大会二日目の分科会では、全国の PSW の実践報告があり、当院からも宮越、竹内、船戸が発表を行いました。発表終了後には質疑応答で活発な意見がだされるなど、どの分科会も活気のあるものでした。私自身の発表は、これまで経験したことのないような緊張に苛まれましたが、後ろの方で見守ってくれていたこころの医療センター山本さん、当院の宮越（竹内は同じ時間、他の分科会で頑張って発表をしていました）、同じ分科会発表者のピアの応援もあり、発表を終える頃には「来年もぜひ発表したい」といった妙な高揚感を味わうことができました。

大会初日夜には、懇親会が行われ、会場のあちらこちらで名刺交換や話し込んでいる様子がみられるなど、つながりを重視している PSW らしい一幕を垣間見ました。余興では、テーブル事にいただいた賞品の争奪戦があり、見事三重県チームは上位 4 個を勝ち取るなど（1 位は当院の竹内で浪江やきそばでした。味の感想などは是非竹内に感想をお聞き下さい。）楽しく交流し、PSW 同士の一体感・つながりを感じ取れた機会となりました。

最後となりましたが、学会参加を通して、日々の実践の振り返りと点検、自己研鑽していくことの重要性を再確認し、今後の業務への活力となる貴重な機会となりました。

ぜひぜひみなさんも PSW 学会へ足を運んでいただくことをお勧めします！

豪華景品争奪じゃんけん!
竹内さんが見事 1 位☆



総合心療センターひなが 竹内 健

6月25日から27日かけてビッグパレットふくしまで行われた第51回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会「共生・創造・未来 ～はじめよう、ここから！～」に出席させて頂きました。初日に行われるプレ企画から参加。全国から集まってくる会員の人数と会場の大きさに圧倒されていましたが、東日本大震災の際にはその会場が避難所として利用されていた事、現在でも会場の横には仮設住宅が建ち並んでいるという説明を聞き、また会場に掲示されている多くの資料を見ていると、いかに大きな災害であったのか、復興という言葉の意味は何なのか、改めて考える機会をいただいたと感じます。

2日目には各講演とシンポジウム、定時総会に出席。柏木会長の基調講演があり、その中で「社会を読む、時代を読む、精神保健福祉だけでなく社会保障・社会福祉にも目を向ける、地域を中心におく視点を持つ」などといった話があり、PSWに求められる専門性や価値といったものについて自分のこれまでの実践について振り返り、自己研鑽の重要性について再認識しました。その後は懇親会に参加し、料理とお酒と名刺交換を楽しみにしていましたが、翌日に控えた自分の発表が気になり酔うに酔わず、早々にホテルに戻って準備を行いました。

最終日の午後、同じ分科会の方々と不思議な連帯感を感じながら発表を待つ間はこれまでに感じたことの無い緊張感に襲われていましたが、いざ自分の番になると気分が落ち着き発表に望むことが出来ました。

大会に参加して様々な講演、発表を聞き、各都道府県で活動されているPSWの方々と話をしているなか3日間という短い期間でしたが、自分の日々の仕事に対する考え方に変化が生まれたように感じました。同じ価値観を持ちながら、それぞれの地域や職場、立場で実践を積んでいる方々の話を聞くことが、これほど自分の考え方、感じ方に影響を与えるとは思っていませんでした。今後も機会があれば、ぜひ参加をしたいと思えます。



「I love you & I need you ふくしま」
総合心療センターひなが 宮越 裕治

ご存知でない方のために、このタイトルは私の福島大会への熱い気持ちではなく、猪苗代湖ズというバンドの曲名です。

学会2日目の夜、懇親会の最後に流れてきたこの曲を聴いて「ああ、自分は震災のあったあの福島県に来ているんだな」ということを何故か実感しました。『♪明日から何かが始まるよ ステキな事だよ 明日から何かが始まるよ 君のことだよ～』流れてくる歌詞を聴き、翌日に分科会での発表を控えていた自分に歌いかけてくれているような気がしないでもない、と勝手に思いこみ、ホテルに戻ってリピートしまくりしばらく聴いていました。

翌日の分科会にて「精神障害者の居場所獲得のプロセスに関する一考察～地域で生活する当事者の語りへの複線径路等至性モデルによるアプローチ～」という発表を行いました。特に何かが始まったわけでもなく、ステキな事が起きることもなく、無事に終了しました。発表まで、調査や分析等にご協力をいただいた皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

冒頭の曲ですが『♪I love you baby ふくしま I need you baby ふくしま I want you baby 僕らは ふくしまが好き～ I love you baby 浜通り I need you baby 中通り I want you baby 会津地方 ふくしまが好き I love you baby 野馬追い I need you baby 赤べこ I want you baby 鶴ヶ城 ふくしまが好き～』と、終盤たたみかけるように“ふくしま愛”を歌うところが聴き所です。この曲を2日目の夜聴き過ぎたためか、3日目すっかり自分は福島が好きと思ひこみ、今大会特設物販会場にて赤べこの人形を見つけるやいなや早速購入して満たされた気持ちで三重県に帰りました。福島は良いところでした。皆さん是非訪れてみてください。おわり。



あかべこに込めたメッセージ。
M越さんが書いたものもあります。

懇親会参加メンバー☆
柏木会長と一緒に
写真を撮りました(*^^)v



懇親会会場ではゆるキャラ
が出迎えてくれました



定期総会開始直前の様子です



同期コンビ&全国の仲間&福島の
仲間で、今年はフリースペースに挑
戦しました!!
M越さん大活躍(^_^)



編集後記にかえて・・・

6月の全国大会からあつという間に秋です。今回、全国大会に参加され、原稿依頼を快く了解していただいた5名の皆様本当にありがとうございました。飲み会や懇親会では、同じ三重県でありながらもこれまでゆっくりお話しできなかった方々と、あれやこれやと会話が弾み、また新しいつながりをもつことができとても嬉しかったです。

心強く、因縁深いM越さんと共に仲間を巻き込み今年も企画ができました。また、職場をはじめとした仲間のおかげで、分科会発表もなんとか無事に終えることが出来ました。(調子によって津市のアピールをしたばかりに時間がおしてしまったのはご愛嬌☆)。

全国大会への参加や発表は、もしかしたら多忙な日々の中では遠い世界の話になるのかもしれませんが、ただ、そんな日々の中、参加し、全国の仲間と出会い、繋がることで、「やっぱり明日からもが一ぼろっ!」と思える可能性があります。少なくとも私自身は毎年ここでエネルギーをもらい、頑張れています(笑)

発表は、抄録作成もスライド作成も苦しい作業です。嫌になります。でも、終わった後は「やってよかった…」と思えます。そして、一人じゃないんです。助けてくれる仲間がそこにもここにもいます。もちろん、あなたの隣にも♡

来年は山口県下関市で全国大会が開催されます。皆様、一緒に参加しませんか?
実は「発表してみたいかも…」と思っているそのあなた!!一緒に挑戦してみませんか?

(広報担当)